

2021年2月3日

## 一般競争入札に関するご案内

医療法人社団輝生会  
成城リハケア病院

標記の件につきまして、下記のとおり入札を行うことになりましたのでお知らせ致します。  
入札への参加を希望する事業者の方は担当までご連絡ください。

### 記

#### 1. 概要

- |            |  |
|------------|--|
| (1) 名称     | 令和2年度東京都地域医療構想推進事業（中小病院支援）   |
| (2) 入札日    | 2021年2月12日（金）  |
| (3) 申込受付期間 | 2021年2月4日（木）～2月7日（日）   |
| (4) 入札方法   | 一般競争入札   |
| (5) 入札場所   | 成城リハケア病院 2F 大会議室   |
| (6) 品目     | ①リハビリテーション機器<br>②デジタル X線 TV 装置<br>③超音波診断装置<br>※詳細につきましては、仕様書をご覧ください。 |

#### 2. 問い合わせ先

成城リハケア病院 サポート部 担当 後藤・高橋  
TEL 03-5429-2292（代表）

以上

## リハビリテーション機器仕様書

### 1. 品名

リハビリテーション機器

### 2. 数量及び構成

一式

#### 【構成内容】

No	メーカー名	品名	規格	数量
1	インターリハ	レッグプレスリハブ	5540	4
2	インターリハ	オプティマルロム	EA9175	4
3	インターリハ	高さ調整式E Aチェア（ローラ付）	EA9060	4
4	インターリハ	コンプレッサーI-Air400	I-Air400	4
5	インターリハ	チューブ 10mm/m 単価	93073-1	20
6	インターリハ	インストラクションキット	4200	8
7	インターリハ	コグニバイクプラス	CB02	4

### 3. 納入期限

2021年3月31日

#### 入札に関する要件

- 1) 仕様書の納入期限に留意し納品作業を行うこと。
- 2) 本機器の調達に伴う搬入、据付、配線、運転調整については当院担当職員と事前協議の上、受注者側で行うこと。
- 3) 本機器の運用を円滑に実現するための技術的サポート体制が整備されていること。
- 4) 導入された機器の動作を判断するため、落札者が正常に動作することを示し、当院担当職員の承認を得た上で引き渡すこと。
- 5) 本仕様書に記載のない事項については当院職員と協議すること。

以上

## デジタル X 線 TV 装置仕様書

### 1. 品名

デジタル X 線 TV 装置

### 2. 数量及び構成

一式

#### 【構成内容】

No	メーカー名	品名	規格	数量
1	島津製作所	デジタル X 線 TV 装置	FLEXAVISION HB package eXceed edition (昇降機能付)	1

#### 【構成内訳】

#### ・ X 線テレビシステム

1)透視撮影台 2)X 線高電圧装置 3)X線管装置 4)遠隔操作卓 5)I.I. (イメージ・インテンシファイア) 6)テレビカメラ 7) モニター 8) DR 装置 9) 近接操作卓

※すべて一式

#### ・ VF 検査記録装置 一式

#### ・ 付属品 一式

#### ・ その他 一式

### 3. 納入期限

2021 年 3 月 31 日

#### 入札に関する要件

##### 【調達物品の備えるべき要件】

#### 1. X 線テレビシステム

1-1 透視撮影台に関しては、以下の要件を満たすこと。

1)寝台はオーバーチューブ方式で遠隔操作型であること。

2)寝台は昇降式であること。

3)寝台は立位約 89 度以上～水平位 0 度～逆傾斜 -30 度以下の範囲で祈祷可能であること。

4)映像系長手移動範囲は 90 cm 以上であること。

5)天板左右動ストローク±11 cm 以上であること。

6)カセット速写機能を有すること。

- 1-2 X線高電圧装置に関しては、以下の要件を満たすこと。
  - 1) X線制御方式はインバータ方式で、最大50kW以上の出力を有すること。
- 1-3 X線管装置に関しては、以下の要件を満たすこと。
  - 1) 焦点サイズは小焦点0.3mm以下、大焦点0.8mm以下であること。
  - 2) 最高使用管電圧は150kV以上であること。
  - 3) 陽極熱容量は、300kHU以上であること。
- 1-4 遠隔操作卓に関しては、以下の要件を満たすこと。
  - 1) 操作性の高い遠隔操作卓を備えていること。
- 1-5 I.I. (イメージ・インテンシファイア) に関しては、以下の要件を満たすこと。
  - 1) 入力視野は最大12インチとし、2段階以上の視野切り替えが可能なこと。
- 1-6 テレビカメラに関しては、以下の要件を満たすこと。
  - 1) 撮像素子はCCDであること。
  - 2) CCDは100万画素以上であること。
- 1-7 モニターに関しては、以下の要件を満たすこと。
  - 1) 液晶モニターであり、19インチ以上であること。
- 1-8 DR装置に関しては、以下の要件を満たすこと。
  - 1) 本体に10,000枚以上一時記録する磁気ディスク装置を有すること。
  - 2) OSはWindowsタイプであること。
  - 3) 画像保存媒体としてDVDまたはCDに保存できること。
  - 4) 撮影画像マトリクスは、1024×1024マトリクス以上であること。
  - 5) 透視画像マトリクスは、1024×1024マトリクス以上であること。
  - 6) ウィンドウ処理機能、画像強調処理機能、ネガ・ポジ反転処理機能を有すること。
- 1-9 近接操作卓に関しては、以下の要件を満たすこと。
  - 1) 操作性の高い近接操作卓を備えていること。
- 2. VF検査記録装置
- 2-1 VF検査記録装置に関しては、以下の要件を満たすこと。
  - 1) 内蔵ハードディスクが500GB以上を有すること。
  - 2) 記録フォーマットで、静止画はJPEG、動画はMPEG-4が可能であること。
  - 3) 映像入力は、DVIを有すること。
  - 4) 映像出力は、DVIを有すること。
- 3. 付属品
- 3-1 付属品は下記の備品を備えていること。
  - 1) 踏み台 (着脱式)
  - 2) 患者握り棒 (着脱式、左右上下一組)
  - 3) 肩当て (着脱式、左右一組)
  - 4) OAテーブル

#### 4. その他

4-1 その他機能に関しては、以下の要件を満たすこと。

- 1) DICOM ストレージ機能を有すること。
- 2) 管球仕様の機能を有すること。
- 3) PACS 側の接続費用を負担すること。

#### 入札に関する要件

- 1) 仕様書の納入期限に留意し納品作業を行うこと。
- 2) 本機器の調達に伴う搬入、据付、配線、運転調整については当院担当職員と事前協議の上、受注者側で行うこと。
- 3) 本機器の運用を円滑に実現するための技術的サポート体制が整備されていること。
- 4) 導入された機器の動作を判断するため、落札者が正常に動作することを示し、当院担当職員の承認を得た上で引き渡すこと。
- 5) 本仕様書に記載のない事項については当院職員と協議すること。

以上

## 超音波診断装置仕様書

### 1. 品名

超音波診断装置

### 2. 数量及び構成

一式

#### 【構成内容】

No	メーカー名	品名	規格	数量
1	コニカミノルタ	超音波診断装置	SONIMAGE HS2 SNIBLE2	1

### 3. 納入期限

2021年3月31日

### 4. 入札に関する要件

#### 【調達物品の備えるべき要件】

#### 1. 超音波診断装置本体

- 1-1 Bモード、カラードプラ、パワードプラ、パルスドプラの機能を有すること。
- 1-2 ワンボタンで表示画像を最適な状態にする自動調整機能を有すること。
- 1-3 スタンバイ機能を有し、起動時間は15秒以内であること。
- 1-4 15インチ以上のモニターを有すること。
- 1-5 本体重量はバッテリーを搭載した状態で8kg以下であること。
- 1-6 バッテリーがフル充電の状態であれば、40分以上の連続駆動が可能であること。
- 1-7 Bモード画像の2画面表示の際、上下分割2画面及び左右分割2画面表示の切り替えが、同一プリセット内で行えること。
- 1-8 画像データ保存媒体は、振動や衝撃に弱いハードディスクではなくSSD（ソリッドステートドライブ）を内蔵していること。
- 1-9 保存画像データから、患者ID、患者名などで過去の検査の画像データを検索できること。
- 1-10 保存された画像データは、USBポートまたはSDカードスロットから、汎用PCで使用可能なデータ形式で出力が可能であること。また、出力時に患者情報を非表示にできること。
- 1-11 DICOM3.0に準拠した外部接続機能を有しており、最大で同時に2送信可能な機能を有すること。

- 1-12 DICOM storage 及び MWM 連携が必要な場合、病院指定の PACS システムなどと接続、連携が出来ること。
- 1-13 表示深度に連動した画質設定および台形走査が可能な事。また、画質の変更及び台形走査の ON/OFF は表示深度に連動して深度調整の摘み 1 つで行える事。
- 1-14 ゲイン・デプス・フォーカスの調整はダイヤル式の摘みで調整可能である事  
また、ゲイン・デプス調整は画面にタッチして調整可能であること。
- 1-15 日本語表記したタッチパネルを有すること。
- 1-16 タッチパネルのソフトキーは任意の位置に、任意のキーを配置できること。
- 1-17 超音波送信時は複数の周波数を組み合わせて送信できること。
- 1-18 動画保存機能が標準装備されており、LIVE にて最大で 30 秒(30 フレーム/Sec)まで保存可能であること
- 1-19 広範囲などに損傷がある場合、長軸方向に連続撮影できるようなパノラマ撮影機能を有していること。
- 1-20 2 画面時での静止画保存に加え動画保存もできること。
- 1-21 画面に直接触って文字や線などを書ける機能を有しており、加えてその画像が保存できること。
- 1-22 検査中に同一患者の過去画像を呼び出し比較ができること。
- 1-23 スプリット機能を有していること。
- 2. 表在用高周波リニアプローブ
  - 2-1 電子リニア走査方式であること。
  - 2-2 実効周波数帯域は 4~18MHz の帯域であること。
  - 2-3 有効視野幅が 38mm 以上であること。
  - 2-4 交差法及び平行法での穿刺時に、プローブの中心の位置がすぐに確認できるようプローブの側面 4 面に矢印が刻印されていること。
- 3. コンベックスプローブ
  - 3-1 高分解能の画像で診断精度の向上を図るため、実効周波数帯域は 2~5MHz であること。
- 4. 診断装置本体搭載用カート
  - 4-1 超音波診断装置本体を載せるための専用カートであること。
  - 4-2 プローブを保持するためのホルダが 4 つ以上装備されていること。
  - 4-3 操作者が座位及び立位での使用時にも対応できるよう 280mm 以上の幅で診断装置の高さを調整できること。
  - 4-4 手技や処置に必要な物品を収納できるバスケットを装備していること。
  - 4-5 軽快に移動できるように 5 つ以上の車輪を有すること。また、全ての車輪に固定用のストッパーが装備されていること。

5. プローブ複数本同時接続ユニット

- 5-1 使用するプローブを変える際、診断装置本体にプローブを抜き差しする手間が省けるよう3本以上のプローブを同時に接続でき、診断装置本体側でプローブ切り替えができるユニットを有していること。
- 5-2 バッテリー駆動時でもプローブの切り替えが可能であること。

6. 保守体制

- 6-1 カスタマーコールセンターにて、24時間365日問い合わせに対応できる体制があること。
- 6-2 急な故障等に対応する為、県内にサービスステーションを有し、メンテナンス要員が常駐していること。

7. その他

- 7-1 仕様書の納入期限に留意し納品作業を行うこと。
- 7-2 本機器の調達に伴う搬入、据付、配線、運転調整については当院担当職員と事前協議の上、受注者側で行うこと。
- 7-3 導入された機器の動作を判断するため、落札者が正常に動作することを示し、当院担当職員の承認を得た上で引き渡すこと。
- 7-4 本仕様書に記載のない事項については当院職員と協議すること。

以上